

教科書採択審議会 審議会資料（国語）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（3者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選定委員長より、選定資料①②を基にした選定結果の説明。選定にあたり重視した2つの観点の確認。
 (1) 学習指導要領の柱「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」という観点
 (2) 国語科の特性を踏まえた独自観点「語彙」、「情報の取捨選択や整理・発信」、「読書活動の充実」という観点
 この2つの観点を軸に検討した結果、選定委員会としては、光村図書を第1位、東京書籍を第2位として推薦する。
 ②選定委員長への質疑
 ③選定委員長退出後、審議会委員による審議。長崎市の学力向上に資するのはどの教科書か、ということが中心的な話題となった。
 ④審議会として、光村図書を第1位、東京書籍を第2位とすることを決定。

判断根拠

- ①資料…選定資料①②における3者の評価。調査資料における3者の数値的な比較。
 ②選定委員長への質疑
 ・独自観点到「情報の取捨選択や整理・発信」を入れたのは、重要課題であるから。東京書籍にも光村図書にも小単元があり充実。
 ・光村図書は長年使用されており、研究の蓄積がある。同時に学び方の提示、前学年との学びのつながりなど使いやすい変化もある。
 ③校長・教職員へのアンケート集計結果
 第1位は光村図書。校長アンケートでは、68名中65名が1位とした。教員集計でも光村図書。第2位はいずれも東京書籍。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|---|---|
| 光村図書 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| ○選定の観点11項目のうち、☆が6、◎が5。(全3者中1位) ○「学び方」が提示されている。文字だけでなく、図形を用いて視覚的に国語科の学習の流れが示されていて分かりやすい。 ○これまでの学びとの結びつきが分かりやすく示されている。国語科は、既習事項を自覚しづらい面があるので、よい工夫といえる。 ○情報に関する小単元が充実。図形による説明は分かりやすい。 ○校長、教職員アンケートともに結果は大差で1位だった。現場からの支持は圧倒的であり、「授業のしやすさ」は評価すべき。 | ○選定の観点11項目のうち、☆が2、◎が9。(全3者中2位) ○「学び方」が提示されている。ただし、文字による説明の割合が多く、誰でも分かりやすいとはいえない面がある。 ○QRコードの充実など、ICTを活用した学習活動等や情報活用能力を育む工夫がされている。 ○情報に関する小単元が充実。漫画による説明は分かりやすい。 ○校長、教職員アンケートとも結果は2位。しかし、1位との差は大きく、現場から十分に支持されているとはいえない。 |

教科書採択審議会 審議会資料（書写）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（3者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選定委員会資料には3者の観点項目すべてに△○がなく、選定委員長説明でも、3者すべて優れた内容であったと説明があったが相違ないか。
 ②選定委員会の判断で3者の差がついた部分や工夫について教えてほしい。
 ③校長や教職員からの意見に、国語科の教科書と同じ出版社にしてほしいという意見がある。国語科との連動や出版社をそろえることについて選定委員会で協議したことがあれば教えてほしい。
 ④ICTの活用、掲載されたQRコードについてどのように考えているか。

判断根拠

- ①いずれの教科用図書も工夫があり、優れた内容であったと考えられる。
 ②教育出版は、共通観点（2）における、学年に応じて学習を進める、発達段階に応じて能力を高める工夫など、複数の観点で特に優れた工夫があった。
 ③国語の教科書と同じ出版社にすることについて、書写の選定委員は書写の教科用図書のみ判断をしており、国語の選定や審議状況、教職員の意見を把握して選定を行っていない。
 ④デジタル端末で作品を撮影し見せ合うことや、動画見本を活用した学習も考えられるが、書写道具を広げた機でデジタル端末は利用しにくく、QRコードの動画も今後変更が可能である。書写、特に毛筆指導におけるICTの利活用場面は限定され则认为られ、大きな判断材料とはならない。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|---|---|
| 教育出版 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力を育成する発問の工夫がある。 ○「考えよう」「ここが大切」「生かそう」で自主的な学習を促し、変容に気づくことができる工夫がある。 ○既習事項を踏まえた段階的な学習ができるよう工夫されている。 ○毛筆における穂先の向きや、硬筆・毛筆の筆圧等についてもわかりやすい表現で伝えている。 ○校長アンケート、教職員アンケートで、どちらも1位である。 | <ul style="list-style-type: none"> ○「生活に広げよう」で国語科の授業と連動できる学習活動を取り上げ、習得した書写の能力を他教科や日常生活に生かすような内容が提示されている。 ○教科等横断的な視点に立った教育課程編成への工夫があり、多くの教科との関連が示されている。 ○点画の書き方について、学習事項の要点を系統的に整理して示し、長さや間隔、運筆の速度や筆圧等を端的に説明している。 |

教科書採択審議会 審議会資料（社会科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（3者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①検定済みの教科書（3者）について、選定委員が重点をおいた、「教科書が子どもたちにとって学びの手引書になっているか。」「社会的な見方・考え方を働かせた問題解決的な学習となるよう工夫されているか。」「長崎市独自の歴史・文化を活かし、平和を求め、多様性を認め合う、国際性豊かな市民の育成に努めるという長崎市の教育方針に見合うものになっているか。」という3つの観点を審議の視点とした。
- ②選定委員の評価の妥当性を、3者の内容を比較しながら確認し、特に「郷土長崎」についての内容が豊富であること、子どもたちにとって使いやすく見やすいものになっていること、上位2者の同一ページを比較しながら、問題解決的な学習へのアプローチの流れがどちらの教科書がわかりやすいかを焦点としながら審議を進めた。

判断根拠

- ①選定資料の評価を見ると、日本文教出版が「☆」の数が多く評価が高い。
 ②校長・教職員アンケートでは、いずれも日本文教出版が上位評価で意見が一致している。
 ③「郷土長崎」の伝統・文化や歴史・自然、人物などが豊富に取り扱われている。
 ④問題解決的な学習の流れが明確に示されており、児童が自ら学ぶことができる「学びの手引書」としての役割を果たしている。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|---|
| 日本文教出版 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○選定資料の「☆」評価が多いことの妥当性が認められる。</p> <p>○第4学年の「伝統と文化」において長崎くんちを取り上げたり、6年生の政治単元「平和主義」の学習において、日本文教出版のみが長崎市の平和式典の様子を取り扱ったりしているなど、長崎市の取り扱いが手厚く、子どもたちが「ふるさと長崎」に興味や誇りを持てる内容となっている。</p> <p>○教科書として見やすく、問題解決的な学習の流れがしっかりしている点や QR コードが豊富で疑問点をすぐに調べられるなどの点で優れている。</p> | <p>○「日本文教出版」に次いで、評価が高かった「東京書籍」を2位とした。</p> <p>○問題解決的な学習の充実については2位の東京書籍のほうが3位の教育出版を上回っていると判断できる。</p> <p>○選定資料において教育出版には「☆」がない。</p> <p>○QRコードが東京書籍の方が多い。</p> <p>○選定資料において、見やすさや使いやすさは3位の教育出版が2位の東京書籍より、評価が高いが、大きな差はないと判断できる。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（地図）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（2者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①第2期長崎市教育大綱での、「長崎を愛する心を持ち、まちを支え、未来へつなぐひと」の育成に適したものであるか。
 ②社会科が始まる3年生では、地図活用技能の習得が必要となるため、地図の読み取りや活用が無理なく移行できるものとなっているか。
 ③地図帳そのものの機能について資料としての地図帳、子どもたちにとって見やすいものとなっているのか、そしてGIGAスクールの時代に使いやすい、活用しやすいものであるか。

判断根拠

- ①2者とも学習指導要領の趣旨をしっかりと反映し、それぞれに工夫あるつくりである。一方、知識・技能の習得、思考力・判断力を促す活動、観察力や資料活用力の育成に有効な統計資料等の提示という点で、「帝国書院」のつくりがより適しているものであった。
 ②2者とも児童の関心を高め、さまざまな事象と関連づけて学習できる内容である。一方、レイアウトや色彩、文字の大きさの適切さや、特に3年生で地図に触れるという発達段階に応じた配慮や工夫といった点では、「帝国書院」の方がより適したつくりであるといえる。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|--|
| 帝国書院 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○発達段階に応じて・系統性を持たせた指導を通して地図活用の技能習得ができるよう、地図の約束や使い方に関する説明が複数ページに渡って丁寧に示されている。</p> <p>○全般において縮尺を統一しているため、視覚的に比較しやすい。また、内容によっては「160万分の1」と「100万分の1」の異なる縮尺を使い分け、児童が活用しやすいさや見やすさに工夫・配慮が見られる。</p> <p>○段彩が少ないため高低が明瞭とはいえないが、立体的表現でそれを補い、全体的に明るい色味を使っていて見やすい。</p> <p>○QRコードの数が多く、ドローン映像を効果的に入れるなど、コンテンツも充実しており、わかりやすくなっている。</p> | <p>○クリアな写真が74枚記載されており、情報量も多い。また、日本と外国の貿易データなど2020年のものが多く新しいものとなっている。</p> <p>○QRコードのコンテンツに白地図が入っており、白地図を使って個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ることができる</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（算数）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（6者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①全ての教科書は、設定した観点項目の水準に達しているが、導入の工夫や題材の工夫、演習・復習問題の質と量、児童への支援の工夫、QRコードのデジタルコンテンツの観点から、「東京書籍」「啓林館」の2者に絞って審議する。（6者→2者）
 ②「QRコード」の量や内容について、また経験の浅い先生でも活用しやすいかどうかといった視点で審議する。
 ③学習したことを確実に身に付けるための練習量とその質について、「東京書籍」「啓林館」の2者が他者よりも抜きん出ている。また、校長・教職員のアンケートにおいて、ほとんどが「東京書籍」と「啓林館」を支持している。

判断根拠

- ①各教科書ともQRコードを使ったデジタルコンテンツを導入しているが、特に「東京書籍」と「啓林館」は充実しており、必要に応じて学習者用PCを用いて学習のヒントが得られるので、授業中はもちろん、家庭で予習・復習するときも役立つ。
 ②学習したことを確実に身に付けるための練習問題について、「東京書籍」は、全ての児童がスモールステップの難易度で構成されている一方、「啓林館」は、難易度が一気に上がる問題が見られる。
 ③算数科は、ほぼ全ての学級担任が授業を行うが、教職員・校長のアンケートにおいて、「東京書籍」は導入、練習問題、支援の工夫など多くのプラス意見が多かったが、「啓林館」については、他の種目と比較してもマイナス意見が多数であった。教えやすさという観点においても「東京書籍」が上位であるといえる。

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|--|
| 東京書籍 | 啓林館 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○演習、復習問題の質・量ともに充実している。特に巻末の「補充問題」、「おもしろ問題にチャレンジ」や各単元末の「たしかめよう」など、個に応じて基本的・基礎的な知識・技能の習得が図られるようになっている。</p> <p>○既習事項の確認、単元の学習内容の本質にかかる内容を1ページにうまくまとめてあり、主体的に児童が取り組みやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○校長・教職員のアンケートにおいて評価が非常に高く、学級担任が確実に授業を行う教科という観点から、分かりやすく、教えやすい教科書である。</p> | <p>○各単元末に「学びのまとめ」「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」と段階を追いながら基礎的・基本的な知識・技能が習得されるように工夫されている。</p> <p>○眼鏡橋や女神大橋の写真、ミカンの収穫量のデータなど、長崎市の児童にとって身近な題材を取り入れている。</p> <p>○「わくわくプログラミング」のページが各学年にあり、ブロックの図が分かりやすく提示してある。QRコードの上に小見出しとマークがあり、内容が分かりやすくなっている。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（理科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（5者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選定資料①の、1（1）、2（4）、3（2）の項目について、5者ともに◎が付いている部分を選定資料②の内容を使いながら議論を進める。
 ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」について「大日本図書」「東京書籍」の2者をQRコードの視点で確認する。また、他者とのQRコードの違いについても確認する。
 ③「主体的で見通しを持った導入の在り方」について、事象を提示して課題解決に入るか、実験ありきで課題に入るかについて議論した。

判断根拠

- ①掲載されている写真の数が多く、「創造的な学び」ができる教科書となっているものとする。
 ②選定資料①における「☆」「◎」の数が多きものを判断根拠の一つとする。
 ③長崎の題材（恐竜博物館など）を取り扱うことで、題材をより身近にするとともに「郷土愛」を育む教科書とする。
 ④QRコードの配置とQRコードに中身の情報が記載されている教科書とする。
 ⑤「個別最適な学び」と「協働的な学び」の工夫がされている教科書とする。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|---|--|
| 大日本図書 | 東京書籍 |
| 理 由 | 理 由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象の写真の数が多く、「創造的な学び」ができる工夫がされている。 ○長崎の特徴（恐竜博物館を含む）をたくさん取り上げているとともに、「郷土愛」を育むものとなっている。 ○飼育・栽培について、仕事と関連付けて記述してある。 ○QRコードの配置に統一感があり、QRコードの中身がわかる表記がされている。 ○キャラクターがペアで対話することで協働的な学びがしやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○単元の導入に簡易的な体験や自然現象との触れ合いをさせることで疑問を引き出す工夫があり、主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○本県の資料が4つ掲載されており、本県の自然等を題材とした学習に活用できるようになっている。 ○QRコードを活用して学習をサポートするコンテンツを十分に設けている。 ○キャラクターを登場させ、見方・考え方のヒントを示し、協働的に学べるよう工夫されている。 |

教科書採択審議会 審議会資料（生活科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（6者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①検定済みの教科書（6者）について、選定委員が重点をおいた「学習指導要領の目標に即した教材の内容や程度、配列、構成」「児童の発達段階や多様性への配慮」「ICT 機器の活用や個別最適な学びの充実」を主な視点として審議を進めた。また、生活科において重要な観点である「気付きの質を高めるような工夫」についても審議の視点とし、評価が高かった教科書の具体をもとに審議を進めた。
 ②選定委員の評価の妥当性を、特に評価が高かった2者の内容を比較しながら確認し、選定委員が高く評価している観点が多いものを推薦順位の上位とした。

判断根拠

- ①外国人の方や障害者の方との関わり、共働き等の家庭環境への配慮等、身近な地域の多様な人々と関わる工夫が見られる。
 ②子どもの思いや願いをもとに、子ども主体の活動が始まるような単元の導入や振り返りに工夫が見られる。
 ③生活科において、子どもの気付きを高めるような工夫は重要であり、観点項目2（4）において優れているものを高く評価。
 ④QRコードが充実しており、ICTを活用する場面を多様に紹介している。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|--|
| 大日本図書 | 教育出版 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○観点項目2（1）から（6）の評価において、「教育出版」と同等の評価であるが、他の観点項目においての評価が上回っている。 ○教科書の使いやすさや見やすさは、子どもたちの学びにおいて重要な要素であることから、☆印が2つあるところを評価。 ○QRコードの数が最も多く、動画を活用しながら、児童が主体的に学習できるようになっている。</p> | <p>○「大日本図書」に次いで、評価が高かった「教育出版」を2位とした。 ○観点項目2については「大日本図書」と同等の評価となっている。 ○「思考ツール」を多く紹介し、考えを広げたり深めたりすることができるように工夫されている。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（音楽）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（2者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ① 2者ともにすべての観点において、評価内容のレベルに達している優れた教科書である。
 ② 「教育出版」が音楽について専門性の高い内容・題材を扱っていると感じるが、小学校では学級担任が音楽の授業を担当することが多いため、授業のやりやすさが重視される。これが校長・教職員アンケートで「教育芸術社」が上位評価である理由であると考えられる。
 ③ 扱う作品の豊富さは、ねらいを達成するために重要であると考ええる。2者の作品数には大きな差は見られない。
 ④ QRコードに関しては、「教育出版」は音楽が聴けるのが短い。それに対して、「教育芸術社」は、QRコードから音楽を聴くことはできないが、ワークシートやタブレットで操作できる資料などが多く用意されている。

判断根拠

- ① 選定委員会の「◎」の数では、「教育芸術社」が上位である。
 ② 「教育出版」は内容の難易度が高く、音楽が得意な児童が力をつける構成となっているが、「教育芸術社」は、詳しい例示やスモールステップによって、音楽に親しみの少ない児童でも取り組める構成となっている。音楽専科でない担任が授業を行うことを考えれば、授業のやりやすさ、使いやすさでは、「教育芸術社」が上位である。
 ③ 校長・教職員アンケートでは、「教育芸術社」が上位である。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|---|
| 教育芸術社 | 教育出版 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○教材ごとに学習目標と活動内容が提示されていて、児童がねらいや活動目標をとらえやすい。</p> <p>○「見つける」「考える」「演奏する」「歌う」「つくる」といった学習の視点を教材ごとに設定しており、何をどう表現するかには児童の意識が向くようなものとなっていた。</p> <p>○音楽づくりにおいて、ページ内のQRコードの中に教科書に掲載されているワークシートをデジタル化した簡単なソフトが用意されている。</p> | <p>○難易度の高い魅力的な教材が含まれていて、音楽が得意な児童の意欲を高めたり、発展的な学習の展開が期待できたりする。</p> <p>○写真については、誰もが知っているような知名度の高い音楽家を多数登場させており、児童の興味関心を高めることができる。</p> <p>○今までの学習を生かした発展的な音楽表現活動ができるような工夫がなされている。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（図画工作科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（2者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①校長・教職員アンケートでは「日本文教出版」、選定委員会は「開隆堂」が上位評価となっていた。そのため、選定委員会が差をつけた観点について、具体例を提示しながら評価の根拠を説明・審議した。
 「1（2）」…「開隆堂」には、長崎市にまつわる記載はないものの、どちらの教科書も地域教材として扱える内容がある。
 「2（7）」…すべての題材で鑑賞について触れているところは「日本文教」が優れている。「開隆堂」は紙面上で鑑賞の取り扱いは少ないが、二次元コードの振り返りシートには鑑賞の項目がある。
 「3（1）」…「開隆堂」は、文字が大きく見やすく、二次元コードのコンテンツもまとまりがある。
 ②教員の「使いやすさ」や「指導しやすさ」、児童の「意欲を高める内容であるか」や「学びやすい工夫があるか」を視点に審議した。

判断根拠

- ①選定委員会の評価では、「☆」の数が「日本文教出版」が1つに対し、「開隆堂」が5つである。また、「開隆堂」は、「学習効果」や「使いやすさ」の観点項目すべてで「☆」となっている。
 ②「開隆堂」はQRコードのコンテンツやフォントの見やすさなどにおいて、若手教員や図工が専門でない教員にとっても指導しやすい教科書となっている。
 ③現行の「日本文教出版」から「開隆堂」に教科書が変わったとしても、教職員の指導力向上や授業改善につながるのではないかと考える。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|---|
| 開隆堂 | 日本文教出版 |
| 理由 | 理由 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○各題材の「めあて」で、学ばせたいところを強調している。文字が大きく見やすいため、児童にとって親しみやすい。 ○二次元コードのコンテンツ内容が教科書に示されており、内容も題材ごとにまとまりがあるため、児童の個別最適な学びの充実につながる構成となっている。 ○図工が苦手な児童でも創作意欲が沸く作品が掲載されている。 ○写真に写る児童の表情が豊かで、創作意欲をかき立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○郷土「長崎」の資料として、「5、6年生（下）」で、「キッズゲルニカ」を取り上げている。 ○鑑賞単元とは別に、すべての題材で鑑賞について触れている。 ○質が高い作品が多数掲載されている。 |

教科書採択審議会 審議会資料（家庭科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（2者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①共通観点の、「長崎」の伝統・文化などを生かした題材の取り扱いについて、2者の教科書の違いを審議。
 ②共通観点の、ジェンダーフリーの考えやキャリア教育の視点について、2者の教科書の違いを審議。
 ③共通観点の、題材の配列や単元の学習の流れについて、2者の教科書の特徴を審議。
 ④教科独自観点について、2者の教科書の特徴を審議。

判断根拠

- ①キャリア教育の視点から、学習内容に関係する職業を「東京書籍」は10種類、「開隆堂」は21種類紹介している。
 ②長崎の特質を扱っている項目に関して、「東京書籍」は「カステラ」と表記しているが、「開隆堂」では「長崎県カステラ」と表記したり、地域性に配慮した「みそこし」の使用を紹介したりしている。
 ③単元の学習の流れについて、「東京書籍」は問題解決的な学習の中で知識・技能が習得できるように構成されているが、「開隆堂」は3つの資質・能力に沿ったためあてと振り返りを設定できる構成となっている。
 ④すべての評価において、「開隆堂」が「東京書籍」より劣っているものがない。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|---|
| 開隆堂 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○多様な職業を紹介することで児童の興味・関心を引き出し、キャリア教育につなげることができるように工夫されている。</p> <p>○「煮干し」「カステラ」「貝雑煮」など、長崎の食材や食文化について気付くことができるよう工夫されており、郷土に誇りをもつ児童の育成につながる。</p> <p>○すべての題材に3つの資質・能力に沿ったためあてが設定され、習得すべき内容が明確である。「できたかな」で知識・技能の習得を確認し、最後は「ふり返ろう」でためあてに戻る構成になっているため、確かな学力の育成につながる。</p> | <p>○「プロに聞く！」というコーナーで職業を紹介することで、キャリア教育につなげることができるよう工夫されている。</p> <p>○「地域の汁物」「地域の料理」等が紹介され、日本各地の伝統や文化について関心を高めることができる。</p> <p>○問題解決的な学習の中で知識・技能が習得できるように、題材の導入に学習の流れが明示されている。巻頭巻末に「いつも確かめよう」のページがあり、実習に必要な知識・技能が確認できる工夫がされている。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（保健）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（6者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
(4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選定委員会では3者（東京書籍、Gakken、大日本図書）が高評価であり、校長・教職員のアンケートでは1者（Gakken）が高評価であった。そのため、選定委員会で高評価であった3社を中心に議論を進めた。
- ②「けがの防止」（5年生）では、けがの簡単な手当てができる「技能」を身に付けることとされており、東京書籍およびGakkenは手当の仕方が順序立ててわかりやすく示しており、実習を進めやすくなっている。また、QRコードからリンクするデジタル資料を用いて児童がけがの手当の仕方をイメージしやすく、正確に実習を進めていくことができる。
- ③東京書籍はすべての単元でデジタル教材の活用を関連付けたQRコードの掲載が豊富であり、5年生までの学習の進め方を大いに活用できることが期待される。

判断根拠

- ①児童が主体的に思考、判断し、自分の考えを伝えることができるように適切な文章による例示や資料等が豊富に掲載されていること。ICT活用が行いやすいこと。
- ②限られた（定められた）配当時間内で、指導内容が習得できる内容となっていること。
- ③すべての児童の指導内容の習得状況をおおむね満足の状態とするために、計画的で効果的に指導と評価の一体化を図ることができる学習の流れや容易に評価できる工夫があること。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|--|--|
| 東京書籍 | Gakken |
| 理由 | 理由 |
| ○選定委員会では最も評価が高く、校長・教職員のアンケートでは次点であった。 ○児童が主体的に思考、判断し、自分の考えを伝えることができるような学習の展開に向けて、児童が考える、話し合う、実習に取り組む際に、指導者が児童に視点や例示を分かりやすく示すことができる。 ○標記・表現や体裁の特徴について、具体例やイラスト等での分かりやすい示しが多い。 | ○校長・教職員のアンケートでは最も評価が高く、選定委員会では次点であった。教職員の考えとして、これまで使用してきた教科書に慣れ親しんできたことが要因であると考えられる。 ○「指導しやすい」は教師の視点であり、「分かりやすい」は児童の視点であることから、東京書籍とGakkenを比較した際、「分かりやすい」という観点で、表記の推薦順位となった。 |

教科書採択審議会 審議会資料（外国語科）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書 (6者) (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選考委員会では、「言語活動の充実」という視点を重視し、「目的・場面・状況」がある活動、そして、お互いの考えや気持ちを伝え合う活動がすべての単元において充実している「光村図書」を評価した。
 ②校長・教職員アンケートでは、「東京書籍」が1位、「光村図書」は4位で、選考委員会の結果と異なる。現行の教科書を継続して使用することで、教育効果が高まると判断した教職員が多かった。
 ③調査・研究に加えた「デジタル教科書」については、事前に審議委員長に相談し、発行者が示した1単元のみ参考程度として閲覧した。

判断根拠

- ①☆や◎が多かった「開隆堂」「東京書籍」「光村図書」3者の同じ内容を扱っている単元をApple TVで提示した。「光村図書」の教科書は絵や写真が大きく、シンプルな構成となっていて、「書くこと」は最小限に精査されている。児童のやり取りを重視して授業を進めることができる。一方、「東京書籍」の教科書は書き込む欄が多く、負担を感じる児童がいるのではないかと考えた。
 ②「光村図書」の教科書では、各単元の「Small Talk」で、既習表現の活用と定着を促し、対話を続けることに慣れることができるように配慮されており、「言語活動の内容」が充実することが期待される。「東京書籍」の教科書は「書くこと」が充実した編成になっており、「書くこと」の指導に時間が取られてしまい、外国語科で最も重視したい「話すこと」「聞くこと」の充実が十分実現できないのではないかと判断した。

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|---|--|
| 光村図書 | 東京書籍 |
| 理由 | 理由 |
| <p>○「目的・場面・状況がある活動」あるいは、「互いの考えや気持ちを伝え合う活動」において、「Plus One」や「Phrase Hunt」を通して、既習表現の活用場面が設定されていて、自分の考えや気持ちを表現できるように配慮されている。</p> <p>○各学年でできるようになることを明確に記し、「CAN-DO リスト」で繰り返し自己評価を行うことで、見通しを持って段階的に学習が進められるようにしている。</p> | <p>○単元構成の工夫により、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得が図られている。ペア活動や既習表現を活用した言語活動を通して、思考力・判断力・表現力が育成されるように工夫されている。</p> <p>○ICTプラットフォームLentrance Reader(レントランスリーダー)上で利用しているので、操作性が高い。また、教科書紙面のQRコードからアクセスできるすべてのコンテンツをデジタル教科書上で表示・再生できるようになっている。</p> |

教科書採択審議会 審議会資料（道徳）

審議材料

- (1) 検定済み教科用図書（6者） (2) 選定委員長の報告及び質疑応答 (3) 選定資料（選定委員会作成）
 (4) 調査委員会資料（調査委員会作成） (5) 校長・教職員・市民の意見集約

審議経過

- ①選定委員長より、選定資料①②を基にした選定結果の説明。選定基準として、次の3点を挙げる。
 (1) 長崎のまちを愛する気持ちの醸成 (2) よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う (3) 情報モラルやいじめ問題への対応の充実
 この3つの視点を軸に検討した結果、選定委員会としては、東京書籍を第1位、光文書院を第2位として推薦する。
 ②選定委員長への質疑
 ③選定委員長退出後、地域教材、「いじめ」に関する教材、「考え、議論する道徳」のあり方などについて審議会委員による協議を行う。
 ④審議会として、東京書籍を第1位、光文書院を第2位、光村図書を第3位とすることを決定。

判断根拠

- ①資料…選定資料①②における6者の評価。調査資料における6者の数値的な比較。
 ②選定委員長への質疑
 上記の選定基準（3観点）について、内容の確認。例えば、「長崎のまちを愛する気持ち」について推薦第1位の東京書籍には、直接長崎を取り上げた教材の数は他者よりも少ないが、教師の工夫により郷土愛の醸成に結びつけやすい教材が多いことなど。
 ③校長・教職員へのアンケート集計結果
 第1位は東京書籍で選定委員会と同じ。第2位は文教出版。第2位が選定委員の推薦と違ったので審議会で検討し、光文書院とした。

審議結果

| 推薦順位 1位 | 推薦順位 2位 |
|---|--|
| 東京書籍 | 光文書院 |
| 理由 | 理由 |
| ○選定の観点11項目のうち、☆が5、◎が6。（全6者中1位） ○教材の前後に、考えるべきポイントが「問い」の形で示されている。この「問い」の内容、量が適切。「教えすぎ」にもなっておらず、教師の創意工夫・子どもの自由な思考が生かされる。 ○『つながる広がる』というコーナーで知識を養い、さらに自分事として考える教材で学びを深める構成になっているなど、いじめ防止に向けた配慮がなされるとともに、教材文も充実している。 ○使いやすさ、見やすさに関する評価が突出している。 | ○選定の観点11項目のうち、☆が1、◎が8。（全6者中2位） ○教材の前後に、考えるべきポイントが「問い」の形で示されている。たいへん丁寧で教えやすい。しかし、「載せすぎ」といえる面もあり、子どもの思考を方向づけてしまう可能性がある。 ○「いじめ」問題を学んだあと、豊富な情報を得ることができるように構成されており、さらに学習を深める仕組みがある。 ○『ネパール地震』や『ユニバーサルデザイン』など、平和・人権に関する教材が多く見られる。 |